

2022 くすのき

VOL.33

# 樟 樹

樟樹会 別府法西高等学校同窓会

# 校内こんなところ(こと)ご存知ですか?

● 第17回 ●

イギリスより Daisy Merrimanさんが着任

コロナ禍で来日が遅れていたALTが昨年11月によりやく来日することができました。

昭和63年頃に初めてALTが愛媛県に配置されたとき、西高にもALTが配置されていましたが、その後配置校が変わり、定期的に訪問して頂くようになっていました。しかし、この度西高にも常時ALTが配置されるようになり、コロナのため約1年来日が遅れましたが、ようやくイギリスからデイジー先生に来て頂けました。そんなデイジー先生にメッセージを頂きました。

Hello everyone!

My name is Daisy Merriman and I am the ALT at Niihama Nishi High School. I moved here from England in November last year and the last few months have gone by so fast! This is my first-time visiting Japan and I moved here with very limited Japanese language.

During the last five months, I have slowly adjusted to Japanese culture which is so different from my own. However, I still encounter daily challenges such as writing my address in kanji and trying to buy the correct groceries! I have also experienced how kind and welcoming Japanese people are and they have made daily life much easier. Some things have become natural, like saying “おはようございます” every morning, but some things still surprise me like ice-cream vending machines!

I am very lucky to be at Nishi High School and I feel like a part of the school now. My co-workers help me with my Japanese and I love speaking with them in English too. I have tried so many interesting Japanese snacks and find myself laughing and smiling every day. My favourite part of being an ALT is talking with the students and playing fun games with them. I hope that they enjoy English lessons with me.

Outside of work, my life is busier than ever. Since moving to Japan, I have become more active and have tried new things like snowboarding and hiking. I love the beautiful nature in Ehime and waking up to the mountains every day. There is a great international community here so I would recommend living in Niihama to anyone! I hope there are more adventures in the future!



みなさん、こんにちは!

私の名前はデイジー・メリマンです。新居浜西高校のALTです。去年の11月にイギリスからここに引っ越してきましたが、ここ数ヶ月はあっという間に過ぎてしまいました!初めて日本を訪れましたが、ほとんど日本語が話せない状態で引っ越してきました。

この5か月間、私は自分の文化とは大きく異なる日本の文化にゆっくりと慣れてきました。しかし、漢字で住所を書いたり、自分が欲しいと思っている食料品を買おうとしたりする時などに、日々課題に直面しています。また、日本人がいかに親切で歓迎してくれ、日常生活をととても楽にしてくれているかを体験しました。毎朝「おはよう…」と言うなど自然になっているものもありますが、アイスクリームの自動販売機のように私を驚かせるものもあります!

私は西高校にすることができてとても幸運で、今は学校の一員のように感じています。私の同僚は私の日本語を補ってくれますし、英語で話すのも大好きです。日本独特の珍しいおやつをたくさん食べて、毎日自分が声を出して笑ったりにっこりしているのに気づきます。ALTであること一番好きな点は、生徒たちと話したり、楽しいゲームをしたりすることです。彼らが私と一緒に英語の授業を楽しんでくれることを願っています。

仕事以外では、私の人生はこれまで以上に忙しいです。日本に引っ越して以来、私はより活発になり、スノーボードやハイキングなどの新しいことに挑戦しました。愛媛の美しい自然と毎朝目覚めてすぐ山を間近に見るのが大好きです。ここには素晴らしい国際社会があるので、新居浜に住むことをお勧めします!今後ももっと多くの非常に珍しい経験があることを願っています!

# 会長挨拶



樟樹会会長  
妹尾 次郎  
昭和55年卒

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、同窓会活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

ご高承の通り、令和3年度もコロナ禍のため多くの事業を中止または延期せざるを得ませんでした。本部のみならず、各支部においても総会が開催できておりませんが、昨年秋季に近畿くすのき会の総会が2年ぶりに開催できたことは大変喜ばしいことでした。

恒例となっておりました「50年目の卒業式」は、3年続けて開催できませんでした。母校の卒業式は、卒業生と保護者のみが参列し、在校生は教室待機という中で執り行われ、来賓も最小限に制約される状況下では困難と判断いたしました。楽しみにされていた同窓生の皆様方には大変申し訳なく思っております。

本部の新しい取り組み事業として、「くすのき文庫」なるものを創りました。これは、願成寺校長先生

(S56年卒)の「本離れが進む時代において、生徒たちに読書の楽しさを味わう機会を増やしたい。」という強い思いから始まりました。母校の図書館の蔵書はかなり古く、最近の生徒が読んでみたいと思うような本が少ないとのことで、図書委員会の生徒たちが古典を含む様々なジャンルの本をセレクトし、約100冊の文庫本を寄贈いたしました。昼休みの時間などを利用し、多くの生徒が読書に親しんでいるとの報告を受けています。今後も継続的に支援して参りたいと考えております。

また、樟樹会のホームページのリニューアルを計画し、他校の実態を調査し検討をしておりますが、そもそも樟樹会として同窓生に対する情報発信はどうあるべきかという原点に立ち返り、目的や手段を再考することになりました。令和4年度に具体化してまいります。

今年は、全日制248名、定時制11名の計259名が新たに同窓会に入会いたしました。卒業したばかりの彼ら彼女らにとつて、同窓会の存在はピンとこない存在だと思いますが、樟樹会の素晴らしさを伝えられ感じられるような活動を今後も続けて参りますので、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルスの終息と、世界平和の到来、そして皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

## トピックス

### その1 くすのき文庫誕生

令和3年11月4日、本校図書室にて文庫本100冊の贈呈式が執り行われた。贈呈式には学校側から願成寺校長先生を始め、教頭先生、図書科の先生方、各クラスの図書委員が出席。同窓会からは妹尾同窓会長、事務局の今井さん、そして同窓会誌「樟樹」の編集担当の石川が参加した。

図書室の南側の書棚には「くすのき文庫」コーナーが設置され、多くの生徒たちの利用を待っている。先日の同窓会理事会で本年度以降も本の贈呈は引き続き行われることが決定した。さらに充実した「くすのき文庫」になることだろう。今は電子書籍に親しむ人も多いだろうが、本のおいや本をめくる指先の感触も楽しみながら読書を楽しんでほしいと心から願っている。



### その2 お昼の読書タイムがスタートです！



「5月9日(月)より本年度の「お昼の読書タイム」が始まった。生徒は思い思いの本を手にして、午後のひと時を過ごしている。」(新居浜西高校だより ホームページより)

やること満載の西高生たちも10分間の本との対話や本の世界への旅をおおいに楽しんでほしい。

### その3 安部希美さんのパネル設置

本館東側の外壁に今年卒業したウエイトリフティングで活躍した安部希美さんのパネルが設置された。小さな体で重いバーベルをさわやかな笑顔で持ち上げている姿がとても印象的だ。



# 生

にわたり活躍されている  
するコーナーです

# 介

## Profile

平成11年 愛媛県立新居浜西高等学校普通科 卒業  
LUNKHEAD結成

平成11年 早稲田大学理工学部応用化学科 入学

平成15年 同 卒業

平成16年 LUNKHEADメジャーデビュー

平成17年 西高祭にてライブコンサート

平成29年 西高創立100周年記念式典にてライブコンサート

平成30年 Hello! NEW 新居浜にてラジオ番組  
「LUNKHEADの週刊少年ランク」放送開始

令和2年 合同会社LUNKHEAD設立

令和3年 南海放送にてラジオ番組「LUNKHEADの  
レディオマイヘッド」放送開始



おだか よしたろう

## 小高 芳太郎

### 「夢は戦う日々に変わる」

毎朝、自転車を漕いで遅刻ギリギリで校門をくぐる。そんな日々から気付けばなんと23年も経ってしまいました。ワオ：ほんとうに？西高で過ごした日々はまるで昨日のようにこんなにも鮮やかなのに。それも

そのはず。俺は西高を卒業して23年も経った今でも、あの日々を共に過ごした連中と毎日のように顔を合わせているのです。生涯の友として、仲間として、同僚として。

俺らは西高時代、それぞれ別のバンドを組んでいました。当時はまだまだロックバンドなんて不良！勉強の邪魔！！みたいな感じで風当たりが厳しく、エレキギターなんて学校に持って行けば先生がジロリ（時代だナ）。そんな俺らがLUNKHEADを結成したのは高校の卒業の時。卒業したらみんな散り散りになる。最後に思い出作りたいよな！と、それで組んだ寄せ集めバンドがLUNKHEADというわけです。その卒業ライブ1回きりのはずだったんです。それがあれあれあれ??

そこからまあ紆余曲折ありましてLUNKHEADは東京で本格的にバンド活動を始めることになりました。全員大学に通いながら（これが後に生きる！）。やる以上、絶対にプロになるつもりでしたがほぼ全ての人に無理だと言われました。そりゃそうだ。ヘタクソだったし。けどもそんな声は全く気にせず突っ走り、晴れてめでたくメジャーデビュー!!あんまり売れませんでしたけども笑。それでも本当に沢山の人が支えてくれて今年でデビュー18周年!!今振

り返っても、しぶとくしぶとく傷だらけで走り続けてきたなあ。勝てなくても、負けてやらねえって。そしたら気付けばいつの間にか、損得じゃなく俺らを応援してくれる人が周りに沢山いました。

2020年に俺らは所属していた事務所を離れ、なんと合同会社LUNKHEADを設立してしまいます。全てのことを自分達だけで決め、行う。これはとても大変なことです。けども面白くもある。俺は多少絵

が描けるのでグッズのイラストを描き、そして大学で齧った化学が実は楽曲制作に役立ったり。ベースの合田は大学で学んだ経済学を活かして代表社員として頼もしい限りですし、ギターの山下はやはり大学で学んだ英語が大活躍です。各々の得意なことを分担して助け合う。そしてそんな俺らを支え助けてくれる沢山の仲間がいる。ファンがいる。

それが唯一の財産かも。俺らだけじゃ独立なんて到底無理でした。色んなことがあったけど、全てが繋がってるんだな、全てが無駄じゃなかった、そう思えるように今を頑張る続ける、それだけなんだと。俺らの夢はもう俺らだけのものじゃなくなりました。俺らの戦う日々は俺らだけの戦いじゃなくなった。その責

任と頼もしさと。新居浜の寄せ集めの高校生の夢はまだまだ終わらないみたいです。

東京の暮らしはもっと華やかだと思ってたナア：これじゃ西高時代と変わらんやん。なんて思いながら俺は今日もメンバーに会いに事務所に向かいます。23年前より随分カゴが重くなった自転車を漕いで。

#### 現在のメンバー紹介

- 小高 芳太郎 (ボーカル・ギター)
- 山下 壮 (ギター)
- 合田 悟 (ベース)
- 桜井 雄一 (ドラム)



左から 合田 悟さん、桜井 雄一さん、小高 芳太郎さん、山下 壮さん

# 同窓

文化面、産業界など各界  
同窓生をご紹介します

# 紹



著者の希望により、  
ホームページへの掲載は行っておりません。  
ご了承ください。



# の歩み

## 感謝を忘れず

女子バレーボール部 **あおの青野** **こまち小町**



こんにちは、女子バレーボール部です。3年生12人、2年生10人、1年生8人の合計30人と顧問の藤澤先生、副顧問の五味先生、そして外部コーチの岡田さんのご指導の下毎日練習に励んでいます。

私たちのチームの特徴は、とにかく面白い！明るい！ということなんです。全員が個性が強く、練習中も常に笑顔が絶えないチームです。しかし、やる時はやる、メリハリがしっかりあるのもこのチームの良いところです。まさに自分たちのモットーである「明るく・楽しく・前向きに」という言葉を体現できていると思います。

コロナ禍で様々なことが制限される中、練習試合がほとんどできなかったり、大会が延期になったりしました。また、大会が開催されても、無観客で行われるなど、もどかしい思いをたくさんしてきました。そのような中ついに部活動が約一か月できかない時がありました。他校のチームは練習しているのに、自分たちは練習ができません、どうしようという焦りや、もっとバレーがしたいと今まで以上に強く思いました。

その時にわかったのは、普段バレーができていたのは当たり前のことかできていたのは安全な状況・環境があり、先生方やマネージャーや保護者の支えがあつてからこそできていたものだと思えて実感しました。

このようなマイナスの状況から普段の何気ない日常の大切さがよくわかり、これからは感謝を忘れずに、そして一日一日を無駄にせず、練習やトレーニングに取り組もうとプラス思考に捉え、今まで以上に練習にも熱がこもっています。



に練習に励んでいます。今までの県大会は2回とも初戦でシード校と対戦し、負けてしまおうという悔しい結果に終わってしまった。次があるとはこれまでは思ってきませんが、今年の総体が高校生活最後の総体となります。

マネージャーや先生方や保護者に恩返しをするためにも、そして今までの悔しさを晴らすためにも四国総体出場を実現させたいです。何よりも周りへの感謝を忘れず、このチームでできる残り僅かな時間を大切に、全力で取り組んでいきたいと思えます。



# 部活動

## 私の写真部生活

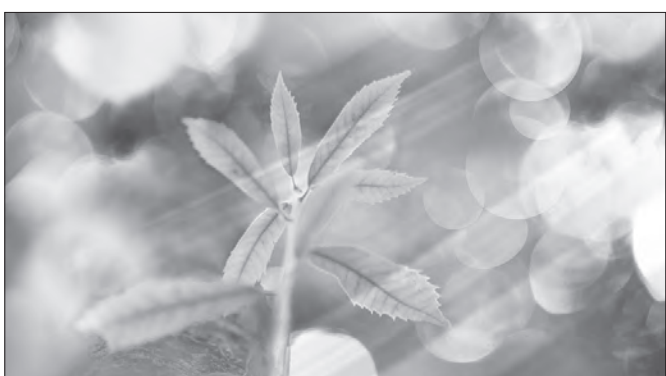
写真部 こでら 小寺 さきこ 梨紗子



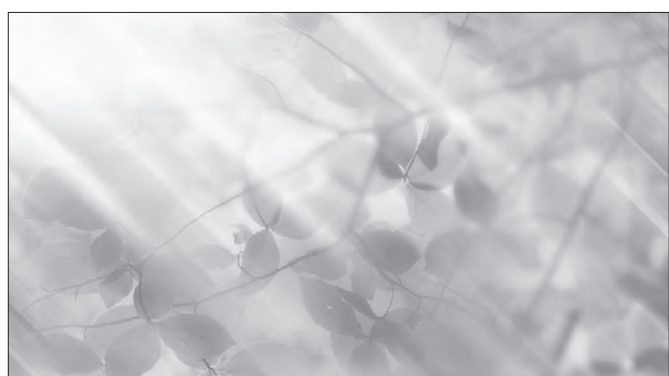
皆さんは、どんな時に写真を撮りますか？友達と遊んだ時、美味しいご飯を食べた時、感動的な風景を見た時、たくさん人の場面が思い浮かびますが、その「瞬間」を「記録」として残しておけるのが、写真の良いところです。年月が経って見返した時、その日の思い出や会話、情景などが甦ってくるのも写真ならではのことです。勿論、老若男女誰もが楽しめるのも良いところです。何歳になっても続けていける趣味で、私も一生続けていきたいと思っています。

私が写真部に入学したきっかけは、姉が本校の写真部で活動していたことが大きく影響しています。姉から写真部のことをたくさん聞いて、この部なら3年間続けていけそうだと思ったこと、基本的に全員初心者だから周囲を気にすることなく活動できるということが入部を決めました。そして何より、一眼レフカメラで写真を撮りたいという強い憧れもありました。一眼レフカメラは決して安価なものではありません。初めて使ってみた時は、その重みにプレッシャーを感じました。最初は、カメラの持ち方もわからないほどの初心者でしたが、ボタン一つ、ダイヤル一つで大きな変化を見せるカメラの世界には私は興奮し、胸を躍らせ、これからも一眼レフで写真を撮りたいという意欲で満ち溢れました。そして今では、カメラ

は私の相棒になっています。こんな私ですが、写真部の活動を通して、特に印象に残っている出来事が二つあります。一つ目は、私専用のカメラを持たせてもらったことです。写真部が所有しているカメラの大半はキヤノン製ですが、その中に富士フィルム製のミラーレス一眼レフカメラが1台加わりました。カメラはメーカーによって操作性がかなり異なるので、誰かに富士フィルム製のカメラをしっかりと扱えるようになってほしいという顧問の先生のお考えもあって、そのカメラを私の専用機として使わせてもらえることになりました。私自身、この時までずっとキヤノン製のカメラを使っていたので、操作の違いに戸惑いもありましたが、今では使い方もマスターし、富士フィルム機の特長を生かした撮影を心がけています。そして、撮影を重ねるたびに、そのカメラに愛着が湧いてきました。



優秀賞受賞作品 「羽毛心地(うもうごち)」



に愛媛県代表として参加するようになりました。晴れの舞台で全国レベルの作品に大いに刺激を受け、さまざまなことを吸収して帰ろうと思います。また、全国の写真部員たちとの交流も楽しみにしています。初めての受賞、初めての全国大会と、私にはもったいないくらい貴重な機会をいただき、心から感謝しています。入学直後からのコロナ禍で、常に制限のある中での活動でしたが、それでも高校の部活動でしか味わえないさまざまな経験を積ませていただきました。私たちが持つスマートフォンでも簡単にきれいな写真が撮れますが、一眼レフカメラの写真表現の幅はスマートフォンにはないと思っています。高校卒業後も趣味として写真を撮り続け、「瞬間」の表現者であり続けたいと思っています。

# 母校の概況

Niihama-Nishi High School

## 105年目の西高 魅力ある進学校を目指して



校長 寺 成 願 まさる かんじょう

樟樹会の皆様には、日ごろから

母校に対して格別のご支援・ご協力を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。今年度は、全日制が3学年で809名、定時制が4学年で35名、全校生徒844名で創立105年目のスタートを切ることができました。コロナ禍での制限のある学校生活ですが、「魅力ある進学校」として、西高の特性を輝かせながら、地域に期待され、愛される学校づくりをしていきたいと思えます。

私自身も本校を昭和56年に卒業しました樟樹会の会員でもあります。また、現在校長住宅に住んでいます。校長住宅は学校の

一宮神社側の門を出たすぐの所にあり、毎朝、一宮神社にお参りに行ったり、夕方誰もいないグラウンドを走ったり、早朝の武道場から聞こえてくる剣道部の力強い足音で目を覚ましたり、毎日快適で幸せな生活を送らせてもらっています。

私は、高校時代陸上競技部だったのですが、当時部員は男子4名しかいませんでした。高3の年は、愛媛県でインターハイが行われたいわゆる『55総体』の年であり、その年、新居浜ではウエイトリフティングが開催されました。あれから42年、今年インターハイが四国を舞台に行われます。そして、再び、新居浜でウエイトリフティングが開催されます。陸上競技部に話を戻します。

あれから42年。当時4人しかいなかったあの陸上競技部男子が、今年の東予地区予選会において、あの東高を抑えて、なんと総合優

勝を飾ったのです。恐らく西高陸上競技部史上初の快挙です。定年退職の年に、こんなご褒美がもらえるなんて感無量です。女子も東高に次いで総合2位となりました。部員も男子20名、女子23名の大所帯となっています。陸上競技部だけではありません。今年度は、すべての部活動が県総体への出場権を得ることができました。野球部も新居浜市内大会で優勝しました。

今年度105周年を迎えた本校は、文武両道を体現した「魅力ある進学校」として、歩みを進めることができている。部活動の活躍とともに進学面においても立派な結果を残し、それぞれが目標とする大学に進学していきま

した。難関大学への進学もマニフェストを達成し、6年ぶりに東大合格者も生まれました。広島大学、岡山大学への進学や、関関同立の合格は、ここ数年で最も多い

数が出ています。進路指導はもちろん、教室での居残り学習や補習等において、生徒をサポートしてきた先生方の努力に頭の下がる思いです。

さて、105周年の節目を迎え、昨年度からいくつか形に残した実績を報告します。一つ目は同窓会に寄贈していただいた『くすのき文庫』です。昨年度100冊の寄贈をいただきましたが、常時30冊から50冊ほどが借りられています。今後も寄贈を継続していただけるのと、感謝の念に堪えません。

二つ目は昨年度のインターハイ、ウエイトリフティング女子49kg級で大会新記録を打ち立て優勝、日本一に輝いた安部希美さんの記念プレートを本館の東側壁面に設置しました。彼女は卒業しましたが、さらに精進を重ね、パリオリンピックに出場してくれるものと信じています。

三つ目は、記念植樹です。本校の第2教棟は、平成27年に新居浜特別支援学校川西分校となりました。同じ敷地内で共に学ぶ生徒同士、定期的な交流を深めてきましたが、近年のコロナ禍により、その交流学習も制限せざるを得ない状態が続いています。そこで、105周年の記念行事として、昭和57年に整備された家庭科との統合校舎落成記念庭園(平成



20年家庭科は閉科となり、その校舎が現在の川西分校です)に、川西分校生とともに『陽光桜』を植樹しました。これによって中庭から正門に向かって(南から北へ)、まずは3月初めにツバキ寒桜、3月中旬に陽光桜、3月下旬にソメイヨシノが順番に春の訪れを知らせてくれることとなりました。

四つ目は記念クリアファイルの作製です。今年度、四国を舞台に行われるインターハイを応援するために、ドローン撮影での応援メッセージビデオを作製しました。本校HPから動画を視聴することができまますので、ぜひご覧になってください。現在の本校の姿がよくわかります。その時の上空写真を使って、記念のクリアファイルを作りました。

105周年を迎えた新居浜西高は、文武両道の「魅力ある進学校」としてこれからも歩み続けます。今後ともご支援、ご声援をよろしくお願い申し上げます。



# 教職員の異動

## 《転出》

教頭	園部 孝行 (小松)
国語	岡本 慎弥 (松山南)
地公	村尾 淳
数学	村上 貴彦 (教育センター)
数学	甲斐 誠
理科	正岡 直起 (今治西)
理科	菊池 郁哉 (今治南)
理科	近藤 俊彰
保体	飛鷹 靖 (西条)
保体	近藤 尚稔 (県教委)
保体	高橋 正行 (今治東中等)
芸術	加藤龍能亮
芸術	白石 宣弘
英語	武智 優子 (新居浜特別支援)
英語	山内 直枝
英語	山本 敦子
教頭	眞鍋帰久文 (土居)
国語	清水 靖二 (東予)
国語	眞鍋亜希子
地公	日和佐敬三 (丹原)
数学	越智 功真 (弓削)
数学	藤田 正司 (新居浜高専)
理科	永井 瑞樹 (川之江)

理科	浅野 迅矢 (新居浜特別支援)
保体	堀部 真生 (みなら特別支援)
保体	岡野 佳代 (今治北)
保体	竹田真太郎 (しげのぶ特別支援)
芸術	橘木 葵
芸術	白石 貴義
英語	高橋龍之介 (八幡浜)
英語	藤原 彩 (西条)

## 同窓の教職員

(氏名)	(卒業年)	(教科等)
亀尾 千春	昭和53	教育活動サポートチーム支援員
願成寺 優	昭和56	校長
藤田 利架	昭和56	英語
鈴木 一宏	昭和58	保体
五味 稔	昭和61	数学
塩崎 美都	昭和63	国語
藤澤 真美	昭和63	英語
宮崎 真紀	平成3	国語
三谷 政史	平成4	保体
清水 靖二	平成4	国語
藤原 彩	平成9	英語
永井 瑞樹	平成13	理科



## 大学合格一覧

最近3カ年の総合格者と、大学別合格者の一部を紹介(過年度生を含む)

	元年	2年	3年
国公立大	136	150	141
私立大	430	346	391
北海道大	0	3	1
東京大	0	0	1
名古屋大	0	1	0
京都大	1	0	1
大阪大	11	6	4
神戸大	2	3	4
岡山大	13	13	20
広島大	4	5	6
愛媛大	44	33	38
九州大	5	2	5

## 年間行事予定

新型コロナウイルスの影響で変更の可能性あり

3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	月																																																					
18	1	21	14	10	20	24	19	29	4	3	27	7	4	26	20	27	16	3	17	5	8	日																																											
3学期終業式			全日制卒業式・定時制卒業式			学年末考査(〓28日)			大学入学共通テスト(〓15日)			3学期始業式			2学期終業式			2学期期末考査(〓30日)			県高校総合文化祭(〓20日)			定時制運動会			2学期中間考査(〓6日)(1・3年生)			2年生修学旅行(〓6日)			2学期中間考査(〓30日)(2年生)			全日制運動会			定時制・通信制県総合体育大会			2学期始業式			1学期終業式			1学期期末考査(〓7月1日)			西高祭			県高校総合体育大会(〓6日)			1学期中間考査(〓20日)			PTA総会			全日制入学式・1学期始業式・定時制入学式		
行事																																																																	



# 部活動結果報告

## 【運動部】 第76回愛媛県高等学校総合体育大会 結果

第76回愛媛県高等学校総合体育大会が、6月初旬から中旬にかけて開催されました。本校からは総勢232名の選手が参加し、各会場において熱戦を繰り広げました。主な結果は以下の通り。

### 【陸上競技】

男子			
トラック総合	6位		
800m	伊東龍吾 1位		
	(四国総体3位・インターハイ出場)		
800m	堀川京佑 4位	(四国総体出場)	
800m	西野永遠 8位		
1500m	鴻上大樹 4位	(四国総体出場)	
1500m	西野永遠 6位	(四国総体出場)	
5000m	鴻上大樹 7位		
	塩崎駿斗 11位		
	鈴木琉生 18位		
	古河友輔 4位		
3000mSC	(四国総体2位・インターハイ出場)		
4×100mR	太田悠翔・伊藤翔理・田中文太・高橋祐希 7位		
4×400mR	伊藤翔理・堀川京佑・田中文太・伊東龍吾 4位	(四国総体6位・インターハイ出場)	
走幅跳	福井悠仁 14位		
三段跳	福井悠仁 19位		
八種競技	成松泉輝 9位		
女子			
総合	6位		
トラック総合	6位		
フィールド総合	7位		
400m	中川和奏 4位	(四国総体出場)	
800m	鈴木心寧 6位	(四国総体出場)	
1500m	藤田夏穂 4位	(四国総体出場)	
3000m	藤田夏穂 2位	(四国総体5位・インターハイ出場)	
4×100mR	太田 遥・高尾明紗・中川和奏・伊藤瑛那 7位		
4×400mR	中川和奏・一井愛可・高尾明紗・鈴木心寧 7位		
走幅跳	高尾明紗 5位	(四国総体出場)	
三段跳	太田 遥 8位		
砲丸投	高尾明紗 6位		
	一井愛可 9位		
	伊藤 梓 10位		
	伊藤 梓 3位	(四国総体出場)	

### 【バスケットボール】

男子	1回戦	新居浜西	56-134	松山工業
女子	1回戦	新居浜西	39-95	聖カタリナ学園
男子	1回戦	新居浜西	0-2	松山北

### 【バレーボール】

男子	1回戦	新居浜西	0-2	松山北
----	-----	------	-----	-----

女子	1回戦	新居浜西	2-0	今治西
	2回戦	新居浜西	0-2	済美
【バドミントン】				
男子団体	2回戦	新居浜西	3-1	松山中央
	準々決勝	新居浜西	3-1	上浮穴
	準決勝	新居浜西	1-3	東温
		(ベスト4)		四国総体出場)
男子個人ダブルス	佐藤優孝・眞鍋黎衣	1回戦		
男子個人シングルス	佐藤優孝	2回戦		
女子団体	1回戦	新居浜西	3-0	伊予農業
	準々決勝	新居浜西	3-0	松山商業
	準決勝	新居浜西	0-3	新田
		(ベスト4)		四国総体ベスト8)
女子個人ダブルス	松川和叶・鈴木菜夏	1回戦		
		(ベスト4)		四国総体ベスト8)
女子個人シングルス	鈴木菜夏	ベスト8		
	宮崎花音	ベスト16		
	片岡優衣	1回戦		

### 【卓球】

男子団体	1回戦	新居浜西	3-0	八幡浜
	2回戦	新居浜西	3-1	新田
	3回戦	新居浜西	0-3	三島 (ベスト8)
男子個人シングルス	神田秀三	1回戦		
	新山陽斗	2回戦		
男子個人ダブルス	渡邊大也・新山陽斗	3回戦		

### 【ソフトテニス】

男子団体	1回戦	新居浜西	1-2	川之石
男子個人	成房仁輝・曾我部快斗	1回戦		
	坂上大輝・坂上空輝	1回戦		
	村上 心・稲井 誠	1回戦		
女子団体	1回戦	新居浜西	0-3	済美平成
女子個人	米里美春・渡邊りお	1回戦		
【テニス】				
男子団体	1回戦	新居浜西	2-0	大洲

2回戦	新居浜西	0-2	今治西	
男子個人シングルス	越野翔貴	1回戦		
女子団体	1回戦	新居浜西	2-0	松山商業
	2回戦	新居浜西	0-3	新田
女子個人シングルス	森岡花菜	1回戦		
女子個人ダブルス	森岡花菜・片山遥香	ベスト16		

### 【ハンドボール】

1回戦	新居浜西	35-5	吉田
2回戦	新居浜西	6-31	松山東 (ベスト8)

### 【サッカー】

1回戦	新居浜西	2-0	済美	
2回戦	新居浜西	0-6	帝京第五	
男子団体	1回戦	新居浜西	1(1)-3(6)	新田
女子団体	1回戦	新居浜西	0(0)-5(8)	松山北

### 男子個人

横山大和	1回戦		
女子個人	曾我部夢羽	1回戦	

### 【弓道】

男子団体	14位	予選敗退	
女子団体	20位	予選敗退	

### 女子個人

佐藤佑奈	予選敗退		
------	------	--	--

### 【ウエイトリフティング女子】

秦萌々菜	59kg級	1位	(四国総体1位・インターハイ出場)
------	-------	----	-------------------

### 【ボクシング】

高田成之介	ミドル級	1位	(四国総体1位・インターハイ出場)
-------	------	----	-------------------

### 【創作ダンス】

テーマ「不死鳥」	8位		
----------	----	--	--

### 【水泳】

男子			
4×100m	早田和広・安藤陽輝・福田英寿・メドレーリレー	8位	(四国総体出場)
100m自由形	金田浩聖	2位	(四国総体出場)
200m自由形	金田浩聖	2位	(四国総体出場)
200mバタフライ	福田英寿	7位	(四国総体出場)
女子			
400m自由形	神野桃花	4位	(四国総体出場)
200mバタフライ	神野桃花	2位	(四国総体出場)

## 令和4年度全国高等学校定時制通信制体育大会愛媛県予選会 結果

### 【陸上競技】

男子	100m	松木天斗	1位	(全国大会出場)
	200m	松木天斗	1位	(全国大会出場)
	800m	伊藤脩汰	1位	(全国大会出場)
	1500m	伊藤脩汰	1位	(全国大会出場)
	走幅跳	松木天斗	1位	(全国大会出場)

### 【バドミントン】

男子個人ダブルス	中野 粋・神野晴貴	1回戦		
	高尾 新・松本 宙	2回戦		

荒木 由・村上蒼生	2位			
女子個人シングルス	野村有花	1回戦		
	横川姫花	ベスト4(全国大会出場)		
女子個人ダブルス	佐藤愛華・楡垣芽花	1位	(全国大会出場)	
【卓球】				
男子団体	1回戦	新居浜西	0-3	未来(松山)(3位)
男子個人シングルス	下西貴大	1位	(全国大会出場)	

南部隼門	2回戦		
小野春樹	1回戦		
女子団体(リーグ戦)	新居浜西	3-1	松山南
	新居浜西	0-3	西条(2位)
女子個人シングルス	曾我部杏優	ベスト8	
	富田愛羅	ベスト8	
	星田 愛	ベスト8	
	幸田藍良	2回戦	
	坂本亜羽	2回戦	

## 【文化部】 大会 結果

### 【囲碁・将棋】

第16回全国高等学校囲碁選抜大会			
男子個人9路盤戦	細江康太	16位	
第46回全国高等学校総合文化祭囲碁部門愛媛県大会			
男子個人戦	細江康太	2位	
	(第46回全国高等学校総合文化祭囲碁部門都道府県団体戦出場(主将))		
	前川裕也	8位	
	高木 力	3位	
第46回全国高等学校総合文化祭将棋部門愛媛県大会			
男子団体戦	新居浜西A(篠永航宏・細江康太・前川裕也)	2位	
	新居浜西B(高木 力・山下琉空・喜井海登)	4位	
女子団体戦	新居浜西(伊藤陽菜・井上亜子・河村心響)	2位	
	(第46回全国高等学校総合文化祭将棋部門女子団体戦出場)		
第46回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会愛媛県大会			
男子団体戦	新居浜西A(細江康太・篠永航宏・高木 力)	2位	
	新居浜西B(伊集院里玖・山下琉空・横井蓮)	4位	
男子個人戦	細江康太	2位	
	(第46回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会全国大会男子個人戦出場)		

### 【文芸】

第35回愛媛県高等学校総合文化祭文芸部門			
詩部門	十川祐太	優秀賞	
	(第46回全国高等学校総合文化祭文芸(詩)部門出場)		

第23回虚子・こもろ全国俳句大会			
高校生の部	曾我部百花	最優秀学校賞	
第2回 おくのほそ道 草加松原国際俳句大会			
井上康明選「秀作」	十川祐太		
黒田杏子選「入選」	井上朋香		

### 【写真】

第35回愛媛県高等学校総合文化祭写真部門			
小寺梨紗子	優秀賞		
	(第46回全国高等学校総合文化祭写真部門出場)		
第34回愛媛県高等学校文化連盟写真展			
石川四恩	優秀賞		

### 【書道】

第30回国際高校生選抜書展「書の甲子園」			
三木律理子	入選		
第1回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ愛媛県予選			
	2位		

### 【放送】

第61回愛媛県高等学校放送コンテスト			
朗読部門	近藤 環	優良	
創作ラジオドラマ部門	「しあわせな不幸」	優良	
創作テレビドラマ部門	「SNSの世界」	優良	
ラジオドキュメント部門	「地域 ～未来への歩み～」	優秀	
テレビドキュメント部門	「夢への挑戦」	優秀	
	(第69回NHK杯全国放送コンテストラジオドキュメント部門・テレビドキュメント部門出場)		



新居浜のよさが盛りだくさんです

## 新居浜の動き

Hello!  
NEW

# 新居浜

### 「ご覧になりましたか？」 『ちよどよい幸せ』

新居浜市の人口は、約11万6千人ですが、今後人口減少のスピードが加速し2060年には、9万人を下回ることが予測されています。

このため、平成27年度に「新居浜市総合戦略」を、平成28年度には「シティブランド戦略」を策定しました。

シティブランド戦略では、「Hello! NEW 新居浜」をスローガンに掲げ、人、モノ、コト、いろいろなワクワクがあふれるまちを目指し、みんなが主役、みんなが誇れる、そしてみんなに愛される、新しい新居浜をつくるための活動がスタートしました。

さらなる新居浜市の魅力発信の一環として、移住ドラマ『ちよどよい幸せ』を制作し、令和3年12月25日からYouTubeなどで、配信しています。

主人公に愛媛県出身のタレントである友近さんを迎え、共演者に久保田悠来さん、監督に大森研一さんと、市政施行80周年記念映画『ふたつの昨日と僕の未来』でも活躍された方などがキャストイングされています。

このドラマは、全6話で構成され、新居浜の観光地やグルメなどもふんだんに盛り込まれ、市外の方には新居浜への憧れを、市民の方には誇りと愛着を持てる内容となっております。

移住体験ツアーの参加者を迎える新居浜市の職員である聡子(友近)たち。「ワクリエ新居浜」に到着した参加者の中には、聡子の元夫である友之(久保田悠来)の姿が…。歓迎セレモニーで説明を受ける参加者たちだが、それぞれに事情を抱えている様子。参加者たちは、新居浜の魅力を味わうため、

海へ山へ町へと駆け巡るが、ツアー中に事件が発生。  
果たして、聡子と友之、また参加者たちに待ち受ける行方…。

続きは、QRコードから公式ウェブサイトでご覧ください。



問合せ シティプロモーション推進課  
☎0897-65-1251

### 旧端出場水力発電所が 公開されます

新居浜市が現在、工業都市として生成・発展してきた礎は、元禄3年(1690)に発見され、翌年から採鉱された、日本三大銅山の一つである別子銅山です。

この別子銅山の明治期の近代化に大いに貢献した施設の一つが、現在マイントピア別子端出場ゾーンの対岸に位置する旧端出場水力発電所です。

明治45年(1912)に建設されたこの発電所は、当時のわが国最大級の出力3,000kWを誇り、遠く、別子山の銅山川とその支流の七番川から取水され、日浦通洞を経て、東平を経由し、石ヶ山丈の貯水池から落差597m(当時としては東洋一)を利用して発電するという壮大なものでした。

昭和45年に発電所としての役目は終えましたが、操業当時のドイツ製の発電機やペルトン水車などは、国内でも最古級の貴重なものであり、平成23年1月26日に国の登録有形文化財に指定されました。

現在、旧端出場水力発電所保存活用計画に基づき、耐震補強工事等が施工され、令和5年3月から一般公開が予定されています。

問合せ 別子銅山産業遺産課  
☎0897-65-1236

### 全国お手玉遊び大会が 開催されます

新居浜市で始まった「日本のお手玉の会」のお手玉遊びの活動については、平成24年には市政施行70周年事業の一環で、別子銅山や太鼓祭りと併せて新居浜が誇る歴史文化として記念誌が発行されるなど、お手玉遊び文化の発祥地として全国的にも認知されています。

今年「日本のお手玉の会」が設立30周年を迎えるにあたり、これまでの活動の集大成と更なる保存継承活動のため、全国大会が開催されます。

月日 10月29日(土)・30日(日)  
場所 あかがねミュージアム  
内容 団体戦や個人戦の競技大会のほか、段位認定やお手玉づくり教室など

※新型コロナウイルスの感染状況により予定が変更になることもあります。

問合せ 地域コミュニティ課  
☎0897-65-1218



海を越え、四阪島まで電気は供給されていました

# 本部だより

## 西高の「陽光桜」

記念会館前時計塔の横にひときわ鮮やかなピンクの花が咲く桜をご存知ですか。近年よく話題に上る「陽光桜」です。



2000年10月、四恩会（女学校昭和18年卒業）の方たちの最後の同期会記念にと、植樹されたものです。当時は高さ約1メートル、幹の直径は数センチ程でした。若くは添え木を施していましたが、22年を経て大きく育った今は、卒業記念撮影に格好の場所となっています。この桜が咲き始める毎年3月初旬、花見に足を運んでみませんか。



## 新会員名簿発行

7月初旬には令和4年版会員名簿が発行されます。平成17年4月に個人情報保護法が施行されてから4度目。名簿の発行を心待ちにされている方々のお声もたくさんいただいております。人との関わりが段々と薄れていく昨今だからこそ、

名簿の存在意義がますます高まっているのではないかと思います。

## き部だより

### 東日本樟樹会

3年ぶりとなる「東日本樟樹会」総会・懇親会を6月5日（日）に開催を予定していましたが、今年も中止とさせていたいただきました。

年初来からのオミクロン株の急激な拡大に翻弄され、今後の展望の不明確さとさらなる再拡大の懸念や収束安定時期の目途がつかず、なお新しい変異株の発生等々の不安要素が拭いきれない状況の中で、会員の皆様のご健康と安全を第一に考慮しました。

久しぶりの開催を楽しみにされていた皆様には誠に申し訳なくお詫びいたします。今後は新型コロナウイルス感染症との共生の時代となりワクチン接種や治療薬が行き届いた防疫徹底を期待しながら、次回の開催は令和5年6月4日（日）を予定しています。来年の初夏にはお元氣な皆様に、ゆつくりと落ちついてお会いできることを切望し、このパンデミックの収束と一日も早い日常回復を祈念しています。

東日本樟樹会ホームページ  
<http://www.kusunoki-east.com/>  
Eメール  
[kusunoki.east@gmail.com](mailto:kusunoki.east@gmail.com)  
東日本樟樹会

幹事長 久門 敬史（昭和41年卒）

### 近畿くすのき会

第25回近畿くすのき会総会・懇親会

近畿くすのき会は令和3年11月6日、大阪第一ホテルで第25回総会と懇親会を開催しました。コロナ禍の影響で、開催は2年ぶりです。役員改選を行い、会長が11年ぶりに交代、新体制をスタートさせました。コロナ対策を講じながらも、総勢40名を超える賑やかな同窓会となりました。

総会では、村上健治会長の開会の辞の後、来賓の妹尾次郎樟樹会会長が祝辞を述べられました。出席が叶わなかった願成寺優校長がビデオメッセージを寄せ、母校の現状を報告いただきました。就任が決まった曾我浩新会長が抱負を語り、村上前会長に記念品が贈られ、加藤幸則名誉会長の卒寿のお祝いも贈呈されました。

大阪大学大学院医学系研究科の徳増有治特任教授に「不完全な日本、医療神話と健康、ヘルスケア」をテーマに講演していただきました。

懇親会では、恒例のマイクパフォーマンス



マンスが盛況でした。自粛の日常が続いていただけに、旧友との再会に喜びも一人の様子でした。

今回は、令和4年10月29日（土）に大阪第一ホテルで総会開催を計画しています。お互いが元氣な笑顔で再会できることを祈念しています。

近畿くすのき会  
常任幹事 入江 智美（昭和58年卒）

### 松山樟樹会

令和4年度総会・懇親会の開催要項（予定）  
月日 11月19日（土）

場所 東京第一ホテル松山  
日程 17:00～17:30 総会  
17:30～18:20 講演

演題 『信長の軍事（火薬）革命』  
講師：藤田 達生氏  
（三重大学教育学部教授・昭和52年卒）

※コロナ感染が拡大しているようなら中止します。  
松山樟樹会  
会長 加藤 弘正（昭和52年卒）

## お知らせとお願い

今年度も総会・懇親会は中止となりましたが、来年度こそは、皆様と再会出来るのを心より祈念しております。今年度にも、同期会開催を企画し、実施もしくは延期となった会員様からの情報提供を、同窓会事務局までいただけますようお願いいたします。



## — 時間に追われず のんびりと —

樟樹会理事 高橋 利光 (昭和56年卒)

による体育館コンサートは、盛会でした。

1 西高時代をふりかえる  
 (1) 副読本テスト 『解法のテクニク 数学I・II B』、『英語構文の研究』の理解度テストは、いつも追試を回避するのに苦勞しました。

(2) 学力テスト 隣席の藤本隆章君は、英語の校内学テで、学年平均が30点のところ94点の成績をとり、偏差値106という記録を樹立しました。

(3) 運動会 1,500m走に、陸上競技部で中距離専門の願成寺優君(現校長)が、1位を宣言して出走しました。

しかし、テニス部の同級生・津乘弘美君に完敗し、数日後、願成寺君は、坊主頭で登校してきました。

高3時の総合成績は、優勝赤組・神野栄志応援団長、2位緑組・澤井秀一応援団長、3位青組・白石有一応援団長、4位黄組・田坂嘉朗応援団長でした。

(4) 修学旅行 行程は、名古屋・浅間温泉↓黒部アルペンルート・善光寺・志賀高原↓鬼押出し・軽井沢・河口湖↓富士山五合目・東京(自由行動)でした。

女装大会では、美脚の谷中哲也君と真つ赤なドレス姿の佐藤博幸君が、1位を争いました。様々な社会勉強ができたのも修学旅行でした。

(5) 西高祭 同級生で編成したバンド

西高祭で、一躍知名度を上げた高橋啓造君は、心を入れ替え、今では公安職に就いて、住民の安全を守っています。

(6) 土曜日の午後 4時間授業の土曜日は、放課後の外食で、友人と談笑するのが楽しみでした。

うどんの稲福、文福、ラーメンのくま公、大鵬軒、大衆食堂の多賀屋、お好み焼きのぼてじゅう…。稲福の常連客だった飛鷹亨君の注文は、いつも「ためぎうどん」でした。

(7) ラジオの深夜放送 「オールナイトニッポン」、「セイ!ヤング」、「ヤングタウン」などラジオの深夜放送は、心のオアシスでした。当時のパーソナリティーは、笑福亭鶴光、タモリ、所ジョージ、谷村新司などでした。

汽車通学していた寒川の元神童・丹辰幸君は、「ヤングタウン」に出演し、安定した音程の歌声を電波に乗せた経歴の持ち主です。

### 2 西高卒業後のめぐり逢い

(1) 同級生夫妻 西高同級生同士の結婚は、5組誕生しました。これからも元氣にお過ごしください。

(2) 同期会 西高同期会は、28歳、38歳、50歳時に開催しました。

そのほか、新居浜市や東京都内などでは、プチ同期会も随時開催されており、親交を深めています。

東京でのプチ同期会散会后、銀座のお店を案内してくれた三崎泰志君には感謝しています。

(3) 西高での再会 2人の息子も西高に進学し、在学中、同級生の教諭陣にお世話になりました。学年主任の渡辺一生君、英語科の鈴木斎君らの素晴らしい授業のおかげで、息子たちも大学へ進学できました。

### 3 これからは：

同じ学び舎で過ごした仲間には、今も強い絆で結ばれています。情報は、SNS等で瞬時に入ってくる便利な時代になりました。

テレビ番組「人生の楽園」で、脱サラ

して、山口県の周防大島にて民宿「石鍋亭」を経営している宮地直人君の、移住生活が放送されました。宮地君は、定年のない素敵な人生を歩んでいます。僕はといえば、本年5月に還暦を迎え、来年3月末には定年退職となります。定年後は、スピードが求められた現職時代とは違って、孫の成長を楽しみに、のんびり暮らしていきたいと思えます。



帰省者も参加したプチ忘年会 (2015.12.29)



上京時に開催されたプチ同期会 (2020.1.31)



95名が出席した西高同期会 (2013.1.2)

# 二十歳の誓い

コロナ禍にありながらも自らの道を信じて、まっすぐ前を向き歩いている若き同窓生から届いたすてきなメッセージ。

君たちにさまざまな実りがもたらされますよう、心からお祈り申し上げます。

**岑永知早紀** 1組  
 思えば20年間いっぱい泣いてきたな……その分周りを笑顔にできる大人になります！

**菅沼晶洸** 1組  
 大人の振る舞いができよう頑張っていきたいです

**河野沙紀** 1組  
 英語ペラペラになる！

**江口若葉** 1組  
 感謝の気持ちを忘れず、何事にも挑戦していきたいです

**波片志優** 3組  
 誉ある新成人となり、人間形成の道をたどり、立派な人間になりたい

**大竹崇志** 3組  
 ヘソ曲げずにずーっと素直でやりたいです

**中川晃** 6組  
 花に嵐の例えもあるささよならだけが人生だ

**眞鍋晃己** 6組  
 成人になった自覚を持ち、たくさんの方に挑戦していきたいです

**伊藤公実** 1組  
 いつまでも子供心を持った大人になる

**片岡凜** 1組  
 これからもぶちかます！

**横道京香** 4組  
 感謝を忘れず恩送りをし続けたい

**近藤匠海** 5組  
 将来を見据えて日々勉強する

**飯尾葵** 6組  
 ずっと支えてきてくれた大好きな家族にたくさん恩返しができるように頑張ります

**小野祐基** 6組  
 人生を納得のいくものにする

**田中寿樹** 6組  
 だれかの役に立つ人間になりたい

**城野朱里** 2組  
 今まで支えてくれた方々への感謝を忘れず、自分の夢に向かって努力していきます!!

**玉井幹大** 2組  
 立派な大人になります！

**藤田李里** 6組  
 不安や心配も笑い飛ばして頑張ります！

**白石真菜** 6組  
 前を向いて後悔しない人生を送る！

**白川大吾** 6組  
 広い視野で多くのことを吸収できる人になる

**杉田健介** 6組  
 初心を忘れずに、精進します

**村上諒将** 7組  
 新成人になったばかりの僕たちにはまだ何もありませんが笑顔で頑張ります

**廣瀬巴那** 6組  
 知らないことを知っていき楽しさを忘れずに過ごしたいです

**樋口加歩** 6組  
 「自分らしさ」をモットーにやるぞやるぞやるぞー!!

**下田陽世** 7組  
 不安や心配も笑い飛ばして頑張ります！



令和元年3月 卒業アルバムより

令和4年度 樟樹会事業計画 (案)

月日	会合名	内容
3月25日	樟樹編集委員会	「樟樹」33号印刷所承認・概要相談
4月6日	会計監査	令和3年度会計帳簿類
4月11日	樟樹編集委員会	「樟樹」33号原稿依頼先および担当者決定
4月15日	第一回執行役員会	令和3年度事業報告案 令和3年度会計決算監査報告案 令和4年度事業計画案 令和4年度予算案 同窓会入会記念品と同窓会賞について 総会・懇親会開催について その他
4月25日	樟樹編集委員会 (在宅にて編集作業)	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ
5月9日	樟樹編集委員会 (在宅にて編集作業)	前回分校正・第2次原稿持寄り
5月11日	第一回理事会	第一回執行役員会と同内容
5月23日	樟樹編集委員会 (在宅にて編集作業)	校正
5月30日	樟樹編集委員会	最終校正
6月8日	第二回執行役員会	令和4年度総会・懇親会開催準備について その他
6月16日	西高祭支援	チャリティーバザー模擬店にて西高どら焼き販売 バザー収益金を生徒会へ贈呈
6月下旬	第二回理事会	第二回執行役員会と同内容
7月5日		会員名簿発行
7月15日		「樟樹」33号発行
8月6日	総会・懇親会 会場： レーイグラッツェふじ	活動報告と意見交換 (開催予定)
10月29日	近畿くすのき会総会	開催予定
11月19日	松山樟樹会総会	開催予定 (コロナ禍感染拡大なら中止を検討)
1月下旬	第三回執行役員会	
2月上旬	第三回理事会	
2月下旬	同窓会入会式	新会員へ入会記念品贈呈
3月1日	同窓会賞授与 50年目の卒業式	卒業式にて授与 (全日制 定時制 若干名) 50年前 (昭和48年) の卒業会員を招待
備考		文庫本贈呈 今年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため中止

令和3年度 樟樹会一般会計収支決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

項目	3年度予算額	3年度決算額	備考
前年度繰越金	2,670,397	2,670,397	
収入の部			
入会金 (全日制)	2,623,500	2,550,900	773人×3,300円
入会金 (定時制)	128,700	108,900	11人×9,900円
雑収入	10,000	25	預金利息
運営会費	1,000,000	722,380	214件 1口 3,000円から
賛助会費	500,000	500,000	45件 1口10,000円から
収入合計	6,932,597	6,552,602	
支出の部			
会合費	400,000	30,000	執行役員会補助
慶弔費	50,000	30,000	転退職の同窓教職員へ饗別
人件費	1,440,000	1,440,000	賃金
事務費	100,000	103,070	パソコン周辺機器保守点検契約料他
事業費			
同窓会賞	16,500	16,500	全日制2名 定時制1名
入会祝	289,300	263,560	全日制・定時制 卒業生へ記念品
支部活動費	100,000	37,000	各支部総会懇親会 お祝い金他
旅費	50,000	20,000	各支部総会懇親会出席のため
生徒への補助金	500,000	177,780	全国大会出場補助 (110,000円) 『くすのき文庫』に文庫本贈呈
その他の事業費	100,000	69,200	高校野球大会広告料 (44,000円/2社) 50年目の卒業式 (中止報告郵送) 経費
通信費	200,000	227,365	電話代 郵送切手・葉書代
広報活動費	300,000	0	ホームページリニューアル
雑費・予備費	300,000	328,690	振替加入口座手数料負担他
周年事業積立金	500,000	500,000	特別会計へ振替 (5回目)
次年度繰越金	2,586,797	3,309,437	
支出合計	6,932,597	6,552,602	

編集後記

長らくコロナ禍、皆様いかがお過ごしですか？緊迫する国際情勢や物価の高騰にもはらはらする毎日です。

同窓会誌「樟樹」33号をお届けします。母校の近況や同窓の方々のお顔を思い起こさせるような文章がたくさん集まりました。楽しんで頂けたら幸いです。

ところで本校創立100周年を記念に誕生した西高のマスコットキャラクターをご存知ですか？名前は「くすのつきー」といいます。西高の校章のデザインにもなっている樟の葉がモチーフのマスコットです。平成29年卒業の西谷さくらさんが生みの親で、樟の葉をバックに樟の妖精の「くすのつきー」がデザインされています。とてもかわいい。



読書する「くすのつきー」

誰もが親しみをもつことができ、西高の伝統も伝わってきます。「くすのつきー」はいろいろなことにも挑戦するようです。今回は読書。西高のホームページにはいろいろな「くすのつきー」が登場しています。どんな「くすのつきー」に出会えるか探してみてください。

本校の図書室に、藤田聡司氏 (昭和46年卒) から、この春自費出版された『風と時間 藤田聡司表現集 1969〜2021』が寄贈されました。表紙をめくると、映画「ロミオとジュリエット」でジュリエット役を演じられたオリビア・ハッセーの美しい鉛筆画がま



ず目に飛び込んできます。内容は小説、詩、小論、エッセイ等。どれも藤田氏の人の表れた素晴らしい文章です。氏は本校を卒業後京都大学へ進み大学卒業後は愛媛の教育に邁進された方です。興味のある方は図書室へ問い合わせしてみてください。

世の中はままならないことが多いですが、同窓生の皆様、どうぞお健やかでお幸せな毎日をお過ごしください。来年もまた同窓会誌「樟樹」でお目に掛かれることを心から願っております。



- 委員長 石川美千子 (昭47普)  
副委員長 鴉 裕子 (昭49普)  
委員 武田 信之 (昭28普)  
近藤 司 (昭42普) 藤澤 真美 (昭63普)  
近藤 博司 (昭44普) 越智 孝司 (平2普)  
畑田 雅敏 (昭44普) 清水 靖二 (平4普)  
妹尾 次郎 (昭55普) 日野 愛子 (平12普)  
安藤 寛和 (昭58普) 永井 瑞樹 (平13普)  
織田 文生 (昭60普) 鈴木 雅大 (平16普)

発行所 樟樹会  
〒792-0024  
新居浜市宮西町4-46  
TEL 0897-32-4331  
FAX 0897-32-4331

発行者 妹尾 次郎  
編集者 石川美千子  
印刷所 株式会社サラト  
発行日 令和4年7月15日

表紙題字… 檜崎 一光老師  
表紙写真… 大久保直幸氏 (昭和44年卒)  
大久保フォトス

